

## セクションごとの指示

### 1. ヘッダーセクション

- 見出し(H1):「WEBサイト制作をChatGPTで練習してみよう！」
  - フォントサイズ:PCで28px、モバイルで20px
  - フォントカラー:#FFFFFF
- 説明文:「ChatGPTはWEBサイト制作にも便利に使えるツールです...」
  - フォントサイズ:PCで16px、モバイルで14px
  - フォントカラー:#FFFFFF
- ボタン:「ChatGPTはこちら」
  - 背景色:#F5B7B1
  - ホバー時の背景色:#E57373
  - フォントサイズ:PCで18px、モバイルで16px
  - フォントカラー:#FFFFFF
  - ボーダー:なし
- イメージ画像: 右側にスマホを持つ手の画像を配置
  - 画像サイズは自動調整
- **SEO対策:** `alt`属性には「スマートフォンを持つ手の写真」と設定し、テキストに含まれる主要キーワード(例:WEBサイト制作、ChatGPT)を適切に配置してください。

### 2. メインセクション

- 見出し(H2):「AIができること」
  - フォントサイズ:PCで26px、モバイルで20px
  - フォントカラー:#FFFFFF
- リストアイテム:
  - 各項目に対して、アイコンとして頭のシルエットと回路をイメージした画像を配置
  - アイテムリストは以下の通り:
    - 見出し(H3):「サイト検討とコンセプト作成」
    - 見出し(H3):「コンテンツ作成」
    - 見出し(H3):「デザインアイデアの研究」
    - 見出し(H3):「SEO最適化」
    - 見出し(H3):「マーケティング戦略」
    - 見出し(H3):「競合サイトのリサーチ」
  - フォントサイズ:PCで16px、モバイルで14px
  - フォントカラー:#FFFFFF

- ボタン:「うまく活用しましょう！」
  - 背景色:#F5B7B1
  - ホバー時の背景色:#E57373
  - フォントサイズ:PCで18px、モバイルで16px
  - フォントカラー:#FFFFFF
  - ボーダー:なし
- **SEO対策:** 各リストアイテムの**alt**属性に関連するキーワードを設定し、主要なキーワードをテキスト内に適宜配置してください。

### 3. 活用事例セクション

- 見出し(H2):「活用事例」
  - フォントサイズ:PCで28px、モバイルで22px
  - フォントカラー:#FFFFFF
- 事例リスト:
  - 各事例のアイコンとして、楕円形に切り取られた画像を配置
  - 見出し(H3):「マーケティング戦略」
  - 見出し(H3):「コンテンツ作成」
  - 見出し(H3):「サイト設計」
  - フォントサイズ:PCで16px、モバイルで14px
  - フォントカラー:#FFFFFF
- **SEO対策:** 各事例に対応する**alt**属性を設定し、キーワードを含めることでSEO効果を高めます。

### その他の注意事項

- レスポンシブデザインにはメディアクエリを使用し、各セクションのレイアウトとフォントサイズが異なるデバイスに最適化されるようにしてください。
- 画像の**alt**属性を適切に設定し、SEOに配慮してください。
- **CSS**グリッドやフレックスボックスを利用し、レイアウトの柔軟性を確保してください。
- ボタンのホバー効果やその他のインタラクションは、**CSS**を使用して実装してください。

---

この指示書に基づいて、SEOに配慮したコーディングを行ってください。質問や不明点があれば、いつでもお知らせください。